

ひまわり 学年目標「がんばる子」

ひまわり学級では、毎年夏と冬に畑で野菜を育て先生方に販売をしています。今年度も1月に収穫した大根を「ひまわりショップ」で販売しました。残暑厳しい9月上旬に種まきを行い、毎朝欠かさずに水やりを続けてきた子どもたち。思ったより小さかった昨年度の反省を踏まえ、今年は大きな大根を作ろうと草とりや追肥、土寄せを入念に行いました。みんなの努力が実を結び、とても大きな大根を収穫することができました。これからも、自分のために・人のために「がんばることができた」という経験を重ね、自分に自信をもちながら成長していったほしいと思います。



【ひまわりショップ販売の様子】

1年生 学年目標「わくわく」

1年生の子どもたちにとって、はじめてのこと尽くしの一年間でした。学習や運動、係活動、むくろじ活動、学校行事など、全てのことに目を輝かせて取り組みました。生活科では、保育園の年長さんと交流会を開きました。今まで、他学年から何かしてもらったこと多かった子どもたちが、「ルールをもっと簡単にしたほうが楽しめるよ。」「自分で道具を選ばせてあげたら、きつとうれしいよ。」と、保育園の子の立場に立って考え、どうやったら楽しませてあげられるか試行錯誤しながら準備を進めました。その姿を見て、頼もしさと成長を実感することができました。来年度は、新1年生のお兄さん、お姉さんです。やさしくリードする姿が、たくさん見られることを期待しています。



【園との交流会の様子】

2年生 学年目標「かがやき」

2年生は、生活科の学習で、モルモットの飼育を継続して行ってきました。「ルルちゃん」と名前をつけ、2年生みんなで、交代でお世話をしながらかわいがってきました。「ルルちゃんをもっと喜ばせたい。」という思いから、獣医さんや動物園の飼育員さんに詳しく話を聞いたり、遊び場を手作りしたりしました。また、1年生を「ルルちゃんふれあいランド」に招待して、学んだことを伝えたりもしました。目標に向かって、自分たちでよく考え、粘り強くがんばる「かがやき」2年生。ルルちゃんとともに大きく大きく成長した一年でした。



【ルルちゃんふれあいランドの様子】

3年生 学年目標「Sunflower」

太陽に向かってぐんぐん伸びていくヒマワリのように願ってつけた学年目標。子どもたちはこの1年間でさまざまなことを吸収し、大きく育ちました。それは一人ではできないこと、仲間がいるからこそ成し得たことだと思います。これからも友達との関わりを大切にし、お互いに支え合いながら、時には競い合いながら成長してほしいと思います。いそべ学習（総合的な学習）では、キャベツ作りを通し、作物を育てることの大変さを学びました。キャベツショップを開くための話し合いを何度も行い、協力して取り組むこともできました。今後も、自分から取り組むことを大切にしていきたいです。



【キャベツの収穫】

令和3年度 教育活動の成果と課題

教育活動に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。この結果をもとに、来年度の教育活動の計画を立てていきます。子どもたちにとってよりよい活動ができるよう改善していきます。

- 選択肢 「そう思う」：4点 「どちらかと言えばそう思う」：3点 「どちらかと言うとそう思わない」：2点 「そう思わない」：1点 ○アンケートの設問は保護者・児童・教職員で多少異なっていますが、本年度の学校教育目標を受けた重点目標に準じています。

Table with 5 columns: 中期目標, 重点努力目標(評価項目), 教職員, 保護者, 児童. Rows include ①基礎基本の定着, ②自ら学び、自ら考える力の育成, ③他人のためにすすんで行う活動の推進, etc.

○評価のよかった項目

- ・4年社会科の神野新田に関わる学習や5年社会科の校区のマスク工場に関わる学習など、今年度は郷土に目を向けた新教材を開発した。今後も体験的な活動を重視し、子どもたちが自主的に学びに向かい、追究する授業を目ざしていきたい。(1)ー②
・毎月の生活アンケートやその後の個別面談から、子どもたちに寄り添い、声かけ・支援を丁寧に行った。委員会や係活動で自己有用感を、友達から認められることで自己肯定感を高めることができた。(2)ー②

○評価の低かった項目

- ・「むくろじ活動」について、新しい生活様式の中で内容や形態を工夫しながら、昨年度より多くの活動を行うことができた。引き続き活動意義を考える時間を設けたり計画を立てる時間を確保したりして、積極的に取り組めるようサポートしていきたい。(2)ー③

4年生 学年目標「フォー・ユー～みんなのために～」

4年生は、社会見学で神野新田に取材に行きました。社会の時間で学習してきた神野新田の成り立ちや歴史、私たちが安全に暮らすことができるための仕組み(樋門)などを学びました。私たちが豊かに暮らすことができるのは、昔の方々の苦勞があったからだ。そのことに感謝するとともに、自分たちもその担い手になっていくのだという考えをもつことができました。また学年ではクラスマッチなどを実施委員で企画・運営することに力を入れました。「自分が楽しむ」から「みんなが楽しむために自分に何ができるか」を意識して活動しました。来年度は高学年です。感謝の気持ちと、「みんなのために」を合言葉に、活動できる姿を期待しています。



【社会見学の様子】

5年生 学年目標「HERO」

いそべ学習(総合的な学習)の「ハートフル磯辺」では、高齢者福祉について学習しました。疑似体験や認知症講座を通して、お年寄りへの理解を深めた子どもたちは、自分たちにも何かできることはないかと考え、高齢者施設を訪問しました。コロナ禍で、直接触れ合うことが難しい中でも、お年寄りに楽しんでもらいたいという共通の思いをもち、劇やクイズ、福笑いなど工夫を凝らして活動しました。6年生では、これらの経験を生かし、学校生活の多くの場面で自分たちでできることを考え、すすんで実行していく姿を期待しています。



【お年寄りに劇を披露する様子】

6年生 学年目標「I ♥ 磯辺」

6年生のいそべ学習(総合的な学習)では、「セーフティ磯辺」として、防災について学習しました。さまざまな災害から大切な人たちと命を守りたいと考えた子どもたちは、調べ学習を始めました。調べ学習では、本やタブレットを使って行いました。調べたことから疑問をもち、体験活動をしました。避難所の設営体験では、避難所に来た人たちがみんなで協力することが大切だと感じた子が多くいました。日頃から相手のことを思いやる子たちが多いです。防災の学習でも、そんな気持ちがリンクしていたようです。また、それぞれの子が新聞に自分の考えをしっかりとまとめることができました。



【避難所を設営している様子】

○保護者の方によるご意見(抜粋)

- ・タブレットをもっと活用してほしい。
➡今後も、校内での活用だけでなく、学級閉鎖や体調不良等による長期欠席者に対してオンライン授業を行っていきます。
・「むくろじ活動」は、子どもたちが真剣に考えているようでした。とてもよい活動だと思います。「セカンドステップ」(アンガーマネジメント)は、親も勉強になります。
※励まし、改善策、叱咤激励の声をいただき、ありがとうございました。

○評議員の方によるご意見

- ・課題に対して本人なりの答えを出していく中で、友達の言動に目を向け、「自分なら…」と考えてディスカッションができ、追究心が向上していると感じた。
・上級生と下級生が、車座になって議論する場があるとよい。
※多くのご示唆をいただきました。今後の改善に生かしていきます。